

# 専齋 SENSAI



10月29日、第5回米倉記念杯ソフトボール大会が開催されました(さあ、白球の行方は?)。

## 長崎医療センター座談会

千燈照院  
特別企画  
“国病久原会の未来を拓く”

## 診療科特集

Vol.2 外科“消化管”

## TOPICS

- ・復活!平成29年度採用研修医マッチング
- ・平成28年度QC活動受賞報告
- ・第70回国立病院総合医学会(沖縄) 当院演題一覧
- ・今さらながらお薬手帳の話
- ・第17回国病久原会総会
- ・ねんりんピック長崎2016
- ・ソフトボール大会に参加して
- ・臨床医師協議会主催BBQ大会

- ・職場紹介 3A病棟
- ・職場のホープ 救命センター～坂本 陽～
- ・栄養室だより

## 医療センター講演・研修・テレビ出演等

## 編集後記

## 長與 専齋 (1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめ採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

長崎医療センター

座談会 Vol. 15

# 千燈照院

## 特別企画：“国病久原会の未来を拓く”

“温故知新”、組織の伝統と歴史を振り返る姿勢も千燈照院には必要とされます。今回は長崎医療センターのOB会組織である「国病久原会」について紹介します。

### 対談

国病久原会会長 廣田 典祥  
長崎医療センター院長 江崎 宏典

千燈照院とは…  
長崎医療センター千人の職員が力を合せて高度医療の実現にまい進する姿勢を表す言葉。

江崎：今日は長崎医療センターのOB会組織である、「国病久原会」の廣田典祥会長（前当院副院長、国立嬉野病院名誉院長）にお越しいただきました。「国病久原会」はとてもユニークなOB会組織ですが、当院の大部分の職員・OBにもその活動があまり知られていないのではないかと思います。今回の対談で、「国病久原会」の未来について大いに語り合いたいと思います。



長崎医療センター院長  
**江崎 宏典**  
(えざき ひろのり)  
平成24年より現職

廣田：「国病久原会」を紹介する機会をいただき、誠にありがとうございます。前院長の米倉先生に請われて会長を引き受けましたが、どのように会を牽引していけばよいのか、どうしたら未来への展望を拓くことができるのか模索中です。しかし当院へ何らかの形で貢献ができるのではないかと予感もあります。

江崎：私も「国病久原会」の役員をさせてもらっていますが、会長さんからこれまでの歩みを紹介してください。

廣田：国病久原会は昭和61年（1986年）に発足し、今年で30年になります。本会は、会員相互の旧

交をあたためること、OBと本院職員との親睦を図ることを目的としております。現在の会員数は約450名で、毎年約30名の新規加入があります。

江崎：30年とは長い歴史ですね。実際どのような活動をされているのですか。

廣田：大きな行事としては2年に1回総会を開催し、その後懇親会を行っております。本年は10月15日に第17回目の総会を開催したばかりです。今回の記念講演には前脳神経外科部長の馬場啓至先生に『卒後40年、てんかんと共に』の講演をしていただきました。また、会の活性化のために、「国病久原会OB連絡会」を常設して、本会の趣旨をPRする活動もしています。

江崎：てんかんのエキスパートである馬場先生のお話は、先生の足跡も聞けて大変興味深かったですし、懇親会も皆さん楽しまれてましたね。確認ですが、「国病久原会」は当院を退職もしくは転職された方が対象ですよね。

廣田：そうです。途中で他の医療機関に転職された方はもちろんのこと、当院に勤務経験のある職員、非常勤職員（臨床研修医も含む）も含めて元職員で当会にご賛同いただけるならば、どなたでも加入することができます。

江崎：当院に勤務経験さえあれば「国病久原会」の

会員資格があるということですね。ぜひ現職員にも退職後の活動の場に「国病久原会」という場所があるということを認知してほしいと思います。

廣 田：私もぜひ職員の皆さまに「国病久原会」を認知していただき、現職員とOBが一体となって、本院の発展を語りあう場にしたいですね。

江 崎：どこの会社でもOB会はあって、現職の方々のサポートをされていると伺います。一義的には会員の親睦ということもあるのですが、病院のサポート活動もしていきたいということですね。

廣 田：「国病久原会」は本院の応援団です。大きな声こそ発しません、常に長崎医療センターの伝統と歴史を守っていく気概を持ち続けています。OBにとって長崎医療センターは一つの「心のふるさと」です。老後は孤立しがちな生活になりますので、社会参加のつもりで「国病久原会」に参加してほしいと思います。



国病久原会会長  
廣田 典祥  
(ひろた のりよし)

江 崎：我々も今一度長崎医療センターの伝統と歴史を振り返り、当院で働くことの意義を考えることも必要ですね。職員全員が“当院という歴史ある病院で働く”ということに誇りをもってほしいと思います。その伝統と歴史を知る一つの手段として廣田会長が立ち上げられた「国病久原会」のホームページはとてもよいツールですね。

廣 田：ありがとうございます。長崎医療センターホームページの【医療関係者の方に】の項目に「国病久原会」のホームページを設けさせていただきました。本会の趣旨や沿革だけでなく、【会員の声】や【この人に聞く】というコーナーもあります。当コーナーに登場するOBは皆退職後も自分の

趣味やキャリアをいかし、活発な社会参加をしています。「国病久原会」のOB達の足跡が現職の方々にヒントを与える、双方向の交流ができるスペースであれ、と。

江 崎：【この人に聞く】の当病院名誉院長の矢野先生とのインタビュー記事は当院の足跡を知ることができますし、【会員の声】では当院の市民公開講座に参加された感想等を掲載していただいているので主催者側としてうれしい報告です。

廣 田：読んでいただきありがとうございます。まだまだコンテンツが足りません。多ければ多いほど、先ほど申し上げたような「心のふるさと」づくりができるかと期待しています。

江 崎：わたくしどもも新しい投稿を楽しみにしております。

廣 田：「国病久原会」のホームページを、会員の皆さまと現職員の皆さまとの、ゆたかな交流の場にしたいですので、ぜひ会員の皆さま、【会員の声】にご寄稿ください。

江 崎：「国病久原会」の皆さまと現職の病院職員が手を携えて、素晴らしい病院にしていきたいと思えます。本日はどうもありがとうございます。

廣 田：こちらこそ、このような機会を与えて下さり、深く感謝いたします。お蔭で、「国病久原会」の未来を拓く扉が開いたような気になりました。



# 診療科特集 Vol.2

## 外科(消化管)

“Specialist”が集まり  
 県央の消化器癌・消化器疾患の治療を担う



当院外科は、肝胆膵外科(スタッフ3名)、乳腺外科(同2名)、消化管外科(同5名(うち小児外科との兼任1名))の10名とレジデント2名の12名からなります。

当院消化管外科の特徴として、Specialistが充実していることです。上部(食道、胃)、下部(小腸・大腸)ともに専門医が存在するのは、長崎県下でも限られた施設のみとなります。

日本外科学会 指導医	7
日本外科学会 外科専門医	10
日本消化器外科学会 指導医	5
日本消化器外科学会 専門医	5
日本消化器病学会 専門医	3
日本消化器内視鏡学会 専門医	1
日本食道学会 食道外科専門医	1
日本大腸肛門病学会 指導医	1
日本大腸肛門病学会 専門医	1
日本内視鏡外科学会 技術認定医	2

### 腹腔鏡下手術の積極的適応による低侵襲手術の実現

2015年の手術術式では、食道癌14例、胃癌83例、結腸・直腸癌122例、直腸手術55例と、消化管癌の手術では、長崎県の施設中、屈指の手術数です。腹腔鏡

下手術は積極的に行っており、大腸癌手術の90%を単孔式含めた腹腔鏡下手術で行っていました。

2015年の入院数

	症例数
食道癌	32
胃癌	100
結腸癌/直腸癌	238
肝癌・転移性肝癌	33
胆道癌	12
脾癌・脾腫瘍	15
乳癌	156
胆嚢疾患・胆嚢炎	78
小児外科疾患	88
甲状腺/副甲状腺疾患	33

2015年の手術術式

術式	患者数
食道癌	14
胃切除術(胃癌)	83
結腸癌・直腸癌	122
直腸手術	55
肝切除術	56
胆嚢・胆道手術	112
脾切除術	23
甲状腺切除術	31
乳腺手術	114
小児手術	88

2015年の手術数

総手術数	全身麻酔	腰椎麻酔・硬膜外麻酔	局所麻酔
981	892	12	76

予定手術(待機手術)	緊急手術
869	112



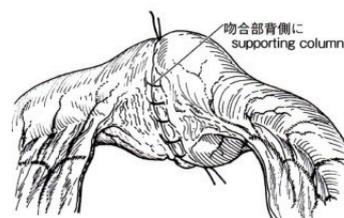
鏡視下食道切除術の胸部創と腹部創



腹腔鏡下胃全摘術後の創部

## 炎症性腸疾患の拠点病院として

炎症性腸疾患外科は、炎症性腸疾患に特化した知識と経験が必要となります。大腸肛門病学会専門医・指導医・評議員がおり、日本炎症性腸疾患学会に所属し、豊富な経験と手術手技にて、術後の QOL を考慮したベストの外科治療を提供できる体制にあります。

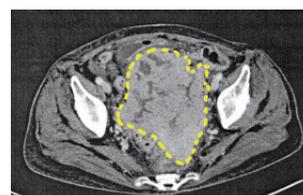
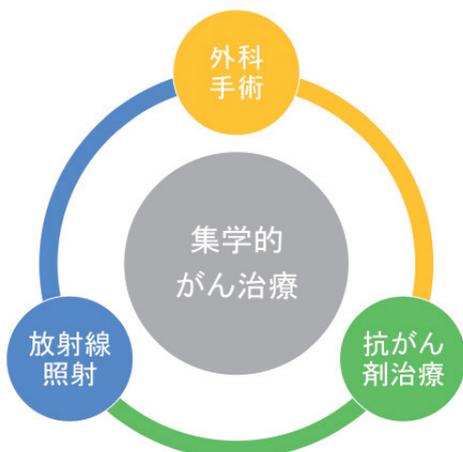


クローン病に対する外科治療  
術後合併症予防、再燃予防目的のKono-S吻合による再建

## 集学的治療による治療成績向上

近年の外科治療の進歩は目覚ましいものがあり、とくに鏡視下手術といわれる胸腔鏡下手術、腹腔鏡下手術は、体の負担が軽く、開腹手術に比べて合併症が少なく、疼痛が軽減されることが、本邦の大腸癌の他施設共同臨床試験の結果で証明されました (JCOG0212)。低侵襲化の一方で高度に進行した消化管癌の場合、外科的切除のみで治癒が難しい場合もあります。近年では、全身化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療を行い、

より治癒度の高い治療を提供するようになりました。治療が高度となるため、専門医による診療が必須ですが、当院では、全身化学療法ならびに放射線療法が可能であり、さらに、癌の診断・治療に有用な PET/CT を備えており、消化管癌に対する集学的治療の体制が整っています。当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、院内には県央がんセンターを設け、質の高いがん医療を提供しています。



化学療法前



化学療法後

集学的治療の一例。骨盤内を占める大きな大腸癌で切除が不能であったが、全身化学療法を行い、縮小させ、外科的に根治手術を行った。

## 臨床研究を通じて新たな治療法の確立へ

当科では、外科的治療のみならず、全国的な研究に参加しております。消化器癌に対する化学療法その他施設共同臨床試験や、大腸癌に対する手術術式についての多施設共同臨床試験に参加し、有効な治療法の確立に寄与し

ております。また、自主研究も行っております。いずれも、当院での倫理委員会にて承認を受け、患者さんの不利益とならないように配慮しております。

### 実施中の多施設共同臨床研究ならびに治験

- CHP-NY-ESO-1: ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験 (IMF-001 医師主導治験)
- KSCC1401: 切除不能KRAS野生型大腸癌に対する1次療法としてのセツキシマブ + IRIS療法に関する第 I / II 相臨床試験
- KSCC1501A: 化学療法未治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1療法について検討する第II相臨床試験
- KSCC1601: 局所進行胃癌・食道胃接合部癌に対する術前化学療法としてのS-1+オキサリプラチン併用療法の有効性・安全性について検討する第II相臨床試験
- PARADIGM試験・付随試験: RAS遺伝子 (KRAS/NRAS遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ペバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第III相無作為化比較試験 および治療感受性、予後予測因子の探索的研究

当科は消化管内科、救急科、麻酔科とシームレスな連携を行い、救急疾患から高度進行癌、炎症性腸疾患を含めたトータルケアを実践しております。患者さんの皆様の御要望にお応えできるよう、日々、努力を重ねています。



## 復活!平成29年度採用研修医マッチング

研修管理委員長 伊東 正博

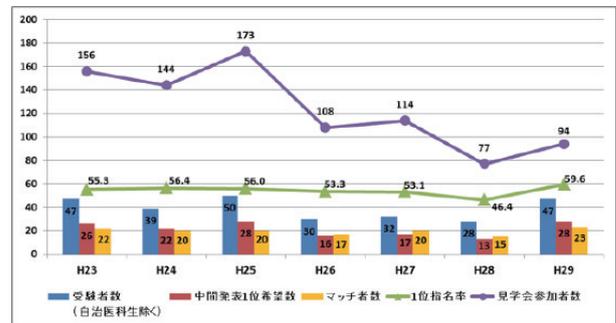
平成25年のピークを境に3年連続で下降の一途を辿っていたマッチングでしたが、4年ぶりに復活です。今年度のマッチング中間発表で全国約千ある市中病院の中で25位と高い評価を受け、最終的なマッチ結果が出ました。プライマリープログラム 19(定員19)、周産期プログラム 4(定員4)と計23のフルマッチとなりました。これに自治医の1が加わり、来年度採用研修医は24名となります。内訳は長崎大14、九州大3、佐賀大2、大分1、愛知医科大1、徳島大1、琉球大1、自治医1、男14、女性10です。

今年の特徴は、①長崎大学から過去最多の学生が集まったこと、②受験生の60%が第一志望(過去最高)、③見学者数の半数が受験してくれたこと、などがあげられます。要因として挙げられるのが臨床実習のグローバルスタンダードを目指して長崎大学から臨床実習の学生が増加し、対応する診療科(主に総合診療科と救急救命)の評判が良かったことです。

九州圏内では熊本医療センター、九州医療センターに次いで第3位。長崎県内では長崎大学の大幅上昇がみられ、長崎県の増加率は全国1位でした。

学生のニーズが読みにくい時代になりましたが、プライマリア研修の質の向上に向けて、研修管理委員会ではアイデアを出して行きたいと思えます。

■見学学生数と受験者数、1位希望者数、マッチ者数の移行状況



## TOPICS

### 平成28年度QC活動受賞報告

臨床検査科 輸血管理室 奈良 友香里

今回検査科では、算定できていない不規則抗体検査の削減を目指して、QC活動を行いました。不規則抗体検査は算定条件があるにも関わらず、入院時検査として血液型検査とセットで依頼されることが多いため、当院には未算定オーダーが相当数含まれていました。そこで依頼を見直す事が試薬コストの削減につながると考え、輸血療法委員会へ提案し取り組みを行いました。

改善策として、血液型と不規則抗体検査の同時検査を誘発している可能性が考えられたオーダー画面を変更し、算定できない依頼数・試薬コストを診療科別に報告しました。産婦人科においては、妊婦でも算定可能な間接クームス検査へ依頼を変更していただきました。この取り組みにて年間で約310万円の削減効果がありました。

この結果、光栄なことに長崎医療センター内で最優秀賞をいただき、九州ブロックでは特別優秀賞を受賞

することができました。

このような素晴らしい賞をいただいたのも、輸血療法委員会をはじめ先生方のご支援と関係各署のご協力があったからだと大変感謝しています。今後も検査科独自の視点から取り組むことのできるQC活動を行い、更なる経費削減に貢献できたらと思えます。





# 第70回国立病院総合医学会(沖縄) 当院演題一覧

	演題	演者	所属
口演	NPO団体からの要請により日本で手術したラオス人顔面裂児の治療経験	藤岡正樹	形成外科
	病院経営:診療材料委員会の立場から	熊谷謙治	整形外科
	子宮異所性胎内腫に対して単純子宮全摘術と両側付属器摘出術を施行した1例	久米可奈子	産婦人科
	難治性気胸を併発し治療に難渋した抗MDA5抗体陽性の間質性肺炎合併皮膚筋炎の1例	遠藤未紗	研修医
	AVR後に生体弁が急性心筋梗塞の発症の要因と考えられた1症例	徳永理佐	初期研修医
	外来棟における超緊急帝王切開シミュレーション研修の効果	中村俊貴	初期研修医
	MYBPC3変異を有する遺伝性急性心筋炎の一剖検例	白濱つづり	初期研修医
	急性心筋梗塞に対してELCAと血栓吸引療法の併用が有用であった症例	村本奈央	初期研修医
	心室細動にて緊急入院となりICD植え込みを行った心サルコイドーシスの1症例	酒井流典	初期研修医
	重傷心不全患者へのインターベンション治療後に発症したBlue toe syndromelに対して和温療法が有効であった1症例	江口瑞奈	初期研修医
	当院が経験したSturge-Weber症候群 —治療法の選択に焦点をあてた後方視的検討—	本田和也	診療看護師(JNP)
	当院NICUにおけるJNPの活動と課題	津野崎絹代	診療看護師(JNP)
	JNP研修を修了しみてきたもの —JNPはチーム医療の潤滑剤—	庄山由美	診療看護師(JNP)
	A病院における内服ヒヤリットに関する個人特性の分析	中尾裕美	3A
	離島からの患者の家族支援の実現に向けて ～CNS-FACEスケールによる本土の患者家族とのモードコピーの比較～	中川舞香	3A
	消化器疾患高齢患者の術後せん妄発症防止と軽減 —咀嚼運動の効果—	中尾直子	7A
	頭部CTアンギオ撮影におけるTest Bolus Tracking法の導入について	島本 惟	診療放射線部
	骨盤部MRI検査におけるコイルケーブルの温度上昇に関する検討	岡原継太	診療放射線部
	散乱線補正処理に関する視覚評価における検討	皆良田明美	診療放射線部
	生化学・免疫部門における業務見直しとその効果について	浦崎 航	臨床検査科
診療録管理体制加算1への取り組み	河本卓也	経営企画室	
医師事務作業補助者における外来診療補助業務の現状と課題についての検討	株元和香子	ドクターズクラーク室	
セミナー	病院経営基盤の強化のための企画課の役割について考える「各病院での取り組みと九州グループ内での連携の事例」	馬渡永年 池野志保	企画課
	人工関節置換術における麻酔方法と静脈血栓塞栓症の関連	本川 哲	整形外科
	長崎県の医師が抱える問題を探索し、医師偏在の解決方法を考える	山崎一美	肝臓内科
	進行乳癌痛に対するPalliative surgeryは患者のQOLを向上させる	藤岡正樹	形成外科
	感染創にこそ遊離皮弁移植術はいいオプションである	藤岡正樹	形成外科
	Perforator to Perforatorの血管吻合による遊離皮弁再建術	藤岡正樹	形成外科
	全層皮膚探皮時の「皮砥(かわと)式defatting法」の紹介	藤岡正樹	形成外科
	植皮によるVulvar reconstructionは禁忌である	藤岡正樹	形成外科
	頸部食道胃管吻合における静脈吻合加症例の術後合併症発生率の検討	西條 広人	形成外科
	離島より搬送された、児童虐待が疑われた広範囲熱傷の1例 ～医療過疎地域、児童虐待それぞれの問題について～	西條 広人	形成外科
	有茎前外側大腿皮弁を用いて下部腹直筋欠損を再建した2例	石山智子	形成外科
	当院で最近経験した乳児早期の百日咳症例の2例	尾曲久美	小児科
	帝王切開術におけるクリティカルパスのバリエーションの比較検討	小谷 倫子	産婦人科
	広汎子宮全摘術後の早期経口摂取のための周術期輸液の検討	梅崎 靖	産婦人科
	化膿性胸鎖関節炎が原因と考えられた頸部・縦隔膿瘍の1例	加瀬 敬一	耳鼻咽喉科

	演題	演者	所属
ポスター	当院における嚥下障害に対する取り組み	奥 竜太	耳鼻咽喉科
	骨髄増殖性腫瘍(MPN)との関連が示唆されたBudd-Chiari症候群(BCS)の1剖検例	黒濱大知	病理診断科
	Treatment outcome of refractory or relapsed CCR4-positive peripheral T-cell lymphoma treated with Mogamulizumab	野口美帆	初期研修医
	Treatment outcome of refractory or relapsed adult T-cell leukemia-lymphoma treated with GDP treatment	松尾彩加	初期研修医
	顔面骨に生じたLangerhans細胞組織球症の1例	松尾彩加	初期研修医
	慢性腎不全の高リン血症予防薬・炭酸ランタンによる胃粘膜障害	松本嵩史	初期研修医
	長期生存を得ている鎖肛を合併したPotter症候群の1例	松本嵩史	初期研修医
	異所性胃粘膜を伴いアネキサスにより穿孔したMeckel憩室の1例 —当院におけるMeckel憩室21例の臨床病理学的検討から—	福本将之	初期研修医
	低異型度高分化型胃腺癌の2例	大坪智恵子	初期研修医
	悪性リンパ腫との鑑別を要した皮膚病性リンパ節症の1例	水崎 俊	初期研修医
	本院のスキルラボの使用状況と今後の有効活用について	稲田有里	教育センター
	熊本地震での重急性期災害医療支援活動において医療救護班にJNPが加わる意義	伊藤健大	診療看護師(JNP)
	外回り看護師の患者監視装置アラームに対する意識と行動に影響を与える要因	弓削亜矢香	手術室
	当院の結腸手術におけるSSI発生状況とその要因	木場みちよ	手術室
	バランス分析により入院期間を短縮できた円錐切除術バス	三根ひろみ	4B
	内服自己管理患者の誤薬ゼロに向けて～当病棟における内服自己管理患者の誤薬要因の分析～	鍵山久美	7B
	経皮的ラジオ波焼灼術中の患者の苦痛に応じた援助方法の検討	大平裕子	8A
	内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けた早期大腸癌患者の思い	岩松愛菜	8B
	抗がん剤血管外漏出危険因子チェックリストの効果	田口温子	9A
	精神リゾンセンターにおける倫理カンファレンスが看護師に与える効果	糸山恵莉	9B
AUD(Antimicrobial use density:抗菌薬使用密度)を用いた耐性菌サーベイランスへの取り組み	溝田繁治	薬剤科	
当薬剤部における手指衛生の現状把握とその対策	梶原由紀	薬剤科	
長崎医療センターにおける新人教育プログラムについて	北御門由依	薬剤科	
ニューモシスチス肺炎加療中にベンタミジンによる起床時低血糖および味覚障害をきたした1例	白川敦規	薬剤科	
脂質制限食を摂取した入院患者に対するノンフライ調理法の有用度評価	荒木翔太	栄養管理室	
当院におけるVE・VP検査の現状	木原忠俊	リハビリテーション科	
急性期病院における作業療法の関わり ～チーム医療と介入対象者の見直しを実施して～	吉田 和史	リハビリテーション科	
当院の大腿骨近位部骨折患者における整形外科・精神科病棟での移動能力の比較検討	鶴田竜司	リハビリテーション科	
セラピストの病棟配置による効果検証	橋本睦美	リハビリテーション科	
リハビリテーション総合実施計画に対する多職種連携強化の検証	坂本浩樹	リハビリテーション科	
非典型的な病変部位であった心サルコイドーシスの1症例	今鷹貴梨子	臨床検査科	
不規則抗体検査の依頼適正化による試薬コスト削減の試み	奈良友香里	臨床検査科	
甲状腺腫瘍様癌4症例の細胞学的検討	佐藤 圭	臨床検査科	
大腿骨上顆軸撮影法の検討	緒方翔吾	診療放射線部	
入院診療計画書の不備ゼロを目指した診療情報管理室の取り組み	馬場 愛	診療情報管理室	
当院の口腔ケアの取り組み —入院前からの口腔ケアシステムの構築—	徳永友子	予約入院支援センター	

## 今さらながらお薬手帳の話

薬剤部 高田 正温

お薬手帳は現在、患者さんの服用薬や服用歴の確認に有益であるのは周知の事実です。

このお薬手帳は、1993年の帯状疱疹治療薬ソリブジンと抗がん剤等の併用に関連した死亡事故と、1995年の阪神淡路大震災にて、被災者の服用薬が不明で必要な治療や投薬が困難だったことが問題となり、服用薬を把握するためのツールとして誕生しました。

お薬手帳は、服用薬以外に、副作用歴・アレルギー歴・主な既往症などを記載する欄があり、当薬剤部でも、入院支援センター業務で観血的処置前の中止薬の確認や、入院時の持参薬把握・アレルギー薬の確認などに役立っており、非常に有益な情報源です。

お薬手帳の能力を100%発揮するには、アレルギーや副作用歴がある場合は必ず記載すること、複数の医療機関の服用薬情報を一冊にまとめること、医療機関や薬局だけでなく、市販薬やサプリメントを買うときもお薬手帳を提示したり記載したりすること、そし

て、発作時に服用するお薬などと同様に、そばに置いておくことです。医療従事者はこれらを患者さんやご家族に説明し、理解して頂くことで患者さんの安全に寄与できますし、患者さん自身は身を守ることに繋がります。

今後ともお薬手帳を有効に活用して頂けると幸いです。



## TOPICS

### 第17回国病久原会総会

管理課 中村 守

10月15日(土)に当院人材育成センターあかしゃホールにおいて、第17回国病久原会(長崎医療センターOB会)が開催されました。本会は、昭和61年11月8日の第1回を皮切りに、当院の元職員の旧交をあたため、また現職員との親睦を図るため2年に1回開催しているもので、今回は初めてあかしゃホールを総会会場として開催されました。当日は晴天にも恵まれて、総会議事も順調に進み、審議事項では国病久原会細則へ国病久原会OB連絡会の設置があらためて承認されました。また、講演では座長を米倉正大名誉顧問に担って頂き、前脳神経外科部長の馬場啓至先生に「卒後40年の歩み、てんかんと共に」と題してご講演頂きましたが、これまでのてんかん治療の苦労話から海外での経験、途中映像を披露されながら楽しそうにお話になり、参加者も貴重なお話を聞けて感銘を受

けられたものと思います。総会のあとは、場所を10階レストランクロスワンへ移動し懇親会が開催されました。各部門の代表者の方からの挨拶(近況報告)から始まり、短い時間ではありましたが現職員との親睦も十分に深めることができたことと思います。最後になりましたが、国病久原会の更なる発展のため、また、総会までの準備等に関しまして、国病久原会OB連絡会の皆様に大変ご尽力頂きましたことに感謝申し上げます。



## TOPICS

## ねんりんピック長崎2016

外科 松村 尚美

60歳以上の方々を中心とした健康と福祉の祭典である「ねんりんピック長崎2016」が10月15日～18日の日程で開催されました。私はシーハットおおむらで開催された卓球交流大会の17日の決勝トーナメントの救護医として参加致しました。外は秋晴れ、涼しく過ごしやすい天候でしたが、体育館内は競技者の方々の熱気で満ちておりました。全国から70の強豪チームが参加し、最高齢の選手は85歳とのこと。年齢を感じさせないハイレベルな試合が繰り広げられ、愛知県から参戦の「ラブリーメイツ愛知」が見事栄冠を勝ち取られました。幸い卓球大会では処置

を要する重傷者はなく、ひと安心でした。

スポーツを行うことは健康な体の維持に貢献するのはもちろん、精神面の活性化やコミュニケーションの場、生きがい共有する仲間の獲得の場としても期待されます。なにより、“ねんりん”を重ねた参加者の方々のさわやかな笑顔、汗を見て、スポーツをする喜びは世代共通だと感じた次第です。



## TOPICS

## ソフトボール大会に参加して

救命センター 坂本 陽

10/29(土)秋晴れの空の下、大会が開催されました。9月に入り、「坂本!でぞ!」と先輩から招集され参加することとなりました。救命学院は、昨年の大会でも優勝し2連覇がかかっていた。正直、参加が決まった当初は、ソフトボールを中学生の体育でやって以来であったので、不安が強かったのを覚えています。ですが、2連覇するために全力でやるしかないという気持ちで勝ち、大会を大いに楽しみながら臨みました。



結果は優勝!今回は、中道先生が不在という危機的な状況でしたが、先生の為にも勝つ!とチーム一丸となって最後まで戦うことができました。来年は、中道先生も含めて3連覇を勝ち取りに行こうと思います。来年も楽しみにしています!

## TOPICS

## 臨床医師協議会主催院内BBQ大会

1年次研修医 川口 雄史

10月22日(土)おおむら夢ファームシュッシュ内レストラン「ぶどう畑のれすとらん」で、毎年恒例の臨床医師協議会主催院内BBQ大会が開催されました。総勢40名以上の参加があり、非常に賑やかで楽しい会となりました。ご家族を連れて参加された先生方もあり、普段病院では見られない父親としての素顔を見ることができたり、可愛く元気な子供達にとにかく癒されていきました。食欲の秋ということもあり、脂の乗った美味しいお肉をお腹いっぱい頂きました。

私は初期研修医として今年から働き始め、臨床医師協議会のイベントや飲み会に何度か参加させて頂きましたが、毎回先生方と普段は話さないようなことを含



めてざっくばらんに話すことができ、会の度に先生方と距離が近づいているように思います。ローテーションしていない科の先生方にも非常によくして頂き、こういった会が働きやすい病院へと繋がっているのだと感じました。来年度も同じ時期にきっと開催されると思いますが、とても楽しい会なのでご都合のつく方はぜひご参加ください!!

## 職場紹介

3A病棟副看護師長 齋宮 順子

### 【3A病棟】

3A病棟は、医師が15名、看護部が師長を含め看護師61名、看護助手3名、事務助手1名、臨床工学技士5名の計80名からなる大所帯です。

勤務場所は救命救急センター、HCU、救急外来、に分かれ、救急搬送患者や重症患者、大手術後の患者の受け入れを24時間体制で行っています。フライトドクター8名、フライトナース9名で8:30から日没30分前までドクターヘリの運航を行っています。

思いもよらない事故や疾患の発症により手術や人工呼吸器、人工透析、心肺補助装置、複数の薬剤投与などの治療を余儀なくされた患者さんが入院してこられます。そのような患者さんが、いかに安楽に、そしてその患者さんがその人らしく治療を続けていけるよう看護をしていきたいと頑張っています。また、急な受傷で入院された患者さんの家族にも、その傍らで、その思いに寄り添っていきたく日々、努力しています。

高度な技術が求められる職場であり、BLSやACLS等の救命救急に関する研修を受け知識・技術の向上に励み、救急認定看護師・重症集中認定看護師をはじめとして、質の高い多様性を持った看護の提供を目指しています。



3A病棟看護師長 山下 美香

### 【職場のホープ 救命センター～坂本 陽～】

この4月から、わが職場に加わった超新星の坂本陽さんを紹介します。坂本陽さんは、東京医療保健大学を主席で卒業し、フライトナースを目指して長崎医療センターにやってきました。夢は、フライトナース!に留まらず、災害等々の様々な場面で人命救助をしたいと熱い志を持っています。新人ナースにして、AHAのACLSプロバイダーコース、JPTEC プロバイダーコースを受講しており、AHAのBLSにおいてはディレクターコースを受講しています。この長崎医療センターで、救命センターにおいて他の配属場所はないとみんなが思っています。そんな、陽さんですが、この夏は熊本でラフティングを楽しみ、真っ黒に日焼けしました。「あら、女子なのに大丈夫?」と何度も聞き返すほど日焼けをし、これまた、「ツーブロックメンズ?」みたいなヘアスタイルにして……。夏が終わるころ、休憩室で先輩看護師に「やっと、日焼けが落ち着いたね」と突っ込まれていました。日々、成長し続けているわが職場のホープ「坂本 陽」をよろしくをお願いします。



## TOPICS

### 栄養室だより

今年も寒い冬がやってきました。今回は当院で患者さんから好評だった「鮭のチャンチャン焼き」のレシピを紹介したいと思います。野菜も一緒に摂れるあったかいチャンチャン焼きをご家庭でも作って見てはいかがでしょうか?



(1人前) 約216 kcal、塩分1.1g

#### <材料> (2人分)

鮭(60g)	2切れ	味噌	20g(大さじ1)
キャベツ	80g(1~2枚)	みりん	10g(大さじ1/2)
赤パプリカ	20g(1/6個)	酒	10g(小さじ2)
黄パプリカ	20g(1/6個)	砂糖	3g(小さじ1)
		バター	6g(小さじ1と1/2)

#### <作り方>

- ①キャベツ、パプリカを食べやすいように細切りにする。
- ②Aを混ぜ、チャンチャン焼きのたれを作る。
- ③アルミホイルにカットした野菜①、鮭を乗せ、②で作ったたれとバターを乗せ、アルミホイルで包む。
- ④オープンやトースター、グリルで20分程度加熱し、火が通っていれば完成! (フライパンで蒸し焼きでも可)

#### ★寺井調理師長より一言アドバイス★

しめじ、えのきなどのキノコや銀杏を入れるのもおすすめです。西京味噌でも美味しいですよ!



※疾患のある方は医師、栄養士等の指導に応じて食事を楽しみましょう。

## 医療センター講演・研修・テレビ出演等(12月)

(敬称略)

## 平成28年度長崎医療センター緩和ケア研修会 (PEACEプロジェクト)

開催日	時間	開催場所	内容
12月2日(金) 3日(土)	8:00~17:50 9:00~16:20	人材育成センターあかしゃホール	平成28年度がん診療に携わる医師に対する緩和ケア

## CPC

開催日	時間	開催場所	内容	講師
12月6日(火)	18:00~19:30	人材育成センターあかしゃホール	敗血症、尿路感染症、慢性腎不全急性増悪	症例担当:福本 将之、酒井 洗典、末松 孝文 臨床指導:大野 直義 病理指導:黒濱 大和

## 第49回糖尿病教室

開催日	時間	開催場所	内容
12月10日(土)	9:00~11:30	臨床研究センター会議室	食べれば上がる? 動けば下がる?? あなたの体の血糖値に迫る!!

## 長崎臨床研修セミナー

開催日	時間	開催場所	内容	講師
12月12日(月)	19:00~20:10	臨床研究センター会議室	『嘔吐を解剖する! Tips & pitfalls in Emergency medicine』	福井大学医学部附属病院総合診療部 教授:林 寛之

## 第7回がん化学療法セミナー／第39回長崎オンコロジー薬剤師研究会

開催日	時間	開催場所	内容	講師
12月22日(木)	18:00~19:30	人材育成センターあかしゃホール	『経口抗がん剤の薬薬連携』	国立がん研究センター東病院薬剤部 主任薬剤師:松井 礼子

## KTN ヨジマル出演

開催日	内容	講師
12月22日(木)	乳がん関連	内分泌・乳腺外科医師:森田 道

これらの講演は、地域の医療従事者の皆様に開放しています。詳細は病院のホームページをご参照下さい。 <http://www.nagasaki-mc.jp/pages/205/>

## ●編集後記

主任栄養士 近藤 高弘

## 人の記憶

SENSAI2016年7月号で、当院がプロデュースした『極 旨香だし』をご紹介いたしました。読んでいただけたでしょうか? 画像はその時の表紙になります。とある所で、「近藤くんみたよ! 表紙に写っていたね!」と不意に声をかけていただきました。その方は以前勤務していた病院の総看護師長でした。私が社会人として最初に勤めた病院なのでお会いするのはもう10年ぶりだったというのに、覚えてくださっていました。栄養士である私の顔だけでなく名前まで…、驚きと同時にすごく嬉しい思いがしました。また、当時のことを思い出し、懐かしさと幸せを感じることができました。

食事の記憶を思い返してみると、幸せや悲しみを感じるものがきっとあり、入院中の食事が嫌な記憶になってしまう事はなんとしても避けたいものです。SENSAIの中で『行事食紹介』コーナーがあるのをご存知でしょうか。食事の工夫

や取り組みについてお伝えしてきましたが、実は今月号から『栄養室だより』としてリニューアルしていますので、これからもご一読いただけましたら幸いと存じます。

患者さんの記憶に残るような食事を提供できるよう、今後も様々な取り組みをしていきます。もちろん、良い記憶として残るように。



# 外来診療担当医一覧表

(★は新患対応)平成28年12月1日～

		月	火	水	木	金		
総合診療科	第1新患	★辻 良香 ★大野 直義	★荒木 利卓 ★道辻 徹	★森 隆浩 森 英毅	★森 英毅 森 隆浩	★和泉 泰衛		
	第2新患		和泉 泰衛	荒木 利卓		大野 直義		
	内科 専門外来	肝臓 (消化器)	★内田 信二郎 ★戸次 鎮宗 ★長岡 進矢 ★阿比留 正剛	★佐伯 哲 ★戸次 鎮宗 ★内田 信二郎	★八橋 弘 ★小森 敦正 ★山崎 一美	山崎 一美 ★長岡 進矢 ★小森 敦正 ★橋元 悟	★阿比留 正剛 ★橋元 悟	
			消化管	★西山 仁	★後藤 高介 ★福田 浩子	★西山 仁		★中島 悠史郎(炎症性腸疾患) ★一瀬 仁美
		内分泌・代謝	明島 淳也	藤田 成裕(糖尿病) ★池岡 俊幸	藤田 成裕	池岡 俊幸(再来のみ)		
		午前	腎臓	★辻 清和		川崎 智子 ★高木 博人	高木 博人 ★川崎 智子	辻 清和 ★川崎 智子
			循環器	★久久 幸治	★春田 真一	★田中 規昭	★松尾 崇史	★深江 貴芸
		呼吸器	★久富 恵子 ★土井 誠志	★永吉 洋介	長島 聖二 ★土井 誠志	★岩永 直樹	★長島 聖二 ★久富 恵子	
		血液	★中島 潤 北之園 英明	★牧山 純也	★吉田 真一郎	牧山 純也 中島 潤	★吉田 真一郎	
		神経		岩永 洋	鳥 智秋(午前は再来のみ)		岩永 洋	
		リウマチ・膠原病	寶來 吉朗		岩永 希	岩永 希		
		午後	循環器			於久 幸治(再来のみ)		
	神経		山田 寛子					
	血液					★北之園 英明		
	小児科	午前	★田中 茂樹(神経) ★橋本 和彦(新生児・乳児) ★桑原 義典(一般) ★本田 涼子(一般・神経)	★安 忠輝(一般) ★瀧口 陽(新生児・乳児) ★金城 勤也(一般)	★金城 勤也(一般) ★和泉 啓(内分泌) 本田 涼子(再来のみ) ★青木 幹弘(新生児・乳児)	★桑原 義典(一般) ★庄司 寛章(一般)	★田中 茂樹(神経) 本村 秀樹(心臓・再来のみ) ★青木 幹弘(一般) ★安 忠輝(一般)	
午後		本村 秀樹 桑原 義典(心エコー)	田中 茂樹(神経) ★本村 秀樹(心臓)	一ヶ月健診	青木 幹弘 橋本 和彦 瀧口 陽 庄司 寛章 土居 美智子			
精神科	★橋口 知幸 蓬萊 彰士(午前のみ)	★橋口 知幸 蓬萊 彰士 田中 大三	★蓬萊 彰士 橋口 知幸	★蓬萊 彰士 橋口 知幸 田中 大三	★田中 大三 橋口 知幸			
皮膚科	★三根 義和	★大久保 滯	★三根 義和	★大久保 滯	★三根 義和			
外科	★黒木 保(肝・胆・膵・消化器) ★徳永 隆幸(小児) ★北里 周(肝・胆・膵・消化器)	★前田 茂人(乳腺・甲状腺) ★渡海 大隆(消化管) ★森田 道(乳腺・甲状腺)	★藤岡 ひかる(肝・胆・膵・消化器)	★前田 茂人(乳腺・甲状腺) ★谷口 堅(食道・胃・大腸) ★森田 道(乳腺・甲状腺) 永田 康浩(食道・胃・大腸)	★竹下 浩明(胃・大腸) ★久芳 さやか(乳腺・甲状腺)			
	呼吸器外科							
心臓血管外科	午前		★田川 努 ★持永 浩史 ★有吉 毅子男 ★尾立 朋大	濱脇 正好(再来のみ)	★濱脇 正好(小児心臓外科) ★有吉 毅子男 ★尾立 朋大 ★小野 智恵 ★佐藤 慧			
脳神経外科	★戸田 啓介 ★牛島 隆二郎	★堤 圭介	★日宇 健		★浅原 智彦 ★内山 迪子			
整形外科	★浅原 智彦 内山 迪子	★熊谷 謙治 依田 周 崎村 俊之 中島 武馬	★崎村 俊之 中島 武馬	熊谷 謙治 ★依田 周	浅原 智彦 ★内山 迪子			
リハビリテーション科	浅原 智彦	中島 武馬	崎村 俊之	依田 周	内山 迪子			
形成外科	藤岡 正樹 石山 智子		福井 季代子 石山 智子	藤岡 正樹	福井 季代子			
産婦人科	梅崎 靖 福田 雅史	安日 一郎 山下 洋	菅 幸恵 杉見 創 産褥1ヶ月検診(午後) ★松屋 福蔵	楠田 展子 五十川 智司 産褥1ヶ月検診(午後) ★山崎 安人	安日 一郎 菅 幸恵			
泌尿器科	★大仁田 亨 ★松屋 福蔵				★大仁田 亨			
移植後フォローアップ外来	松屋 福蔵		松屋 福蔵					
耳鼻咽喉科	田中 藤信 奥 竜太 久永 将史	加瀬 敬一	田中 藤信 奥 竜太 久永 将史	奥 竜太	加瀬 敬一 田中 藤信			
眼科	稲本 美和子 諸岡 美智子 黒崎 智加 高畑 太一 中尾 志郎	稲本 美和子 諸岡 美智子 黒崎 智加 高畑 太一 中尾 志郎		稲本 美和子 諸岡 美智子 黒崎 智加 高畑 太一 中尾 志郎	稲本 美和子 黒崎 智加 高畑 太一 中尾 志郎			
放射線科		溝脇 貴志 放射線治療			溝脇 貴志 放射線治療			
麻酔科(漢方)(午前のみ)		谷口 美和(院内紹介のみ)						

※当院は地域医療支援病院です。初めて受診される場合は、原則、紹介状が必要です。『かかりつけ』等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に保険外併用療養費として5,000円をご負担いただきます。特に、専門外来の受診には予約が必須です。お近くまたはかかりつけの医療機関にご相談いただき、『初診予約票』と『紹介状(診療情報提供書)』を用意してからご来院ください。

【予約受付時間】月～金 8:30～16:30(16:30以降については、翌日の取扱いとなります)

【休診日】土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室

問い合わせ・資料請求・予約; TEL.0120-731-062 FAX.0120-731-063

## 理念

高い水準の知識と技術を培い  
さわやかな笑顔と真心で  
患者さん一人一人の人格を尊重し  
高度医療の提供をめざす

## 長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対に断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する